

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人淡路人形協会
公演団体名	淡路人形座

内容
<p>●淡路人形浄瑠璃のお話（歴史や太夫、三味線、人形遣いの三業を楽しく、わかりやすく）</p> <p>①映像を交えてわかりやすく歴史とお芝居のあらすじや雰囲気などを説明します。</p> <p>②太夫のワークショップでは、義太夫節や独特の発声方法などをわかりやすく解説します。また、床本（太夫が舞台上で使用する見慣れない特徴のある浄瑠璃文字で書かれた台本）を使い太夫の発声方法で「武士」「お姫様」「お年寄り」などの人物のセリフを生徒全員で語っていただきます。</p> <p>③人形遣いのワークショップでは三人遣い、頭（カシラ）と右手を遣う「主遣い」と、左手を遣う「左遣い」、足を動かす「足遣い」の人形の構造や遣い方をわかりやすく解説いたします。児童、生徒に三人一組で人形を遣っていただきます。本公演では、代表9人の児童、生徒に「戎舞」で共演していただきます。</p> <p>それぞれの役割が持つ技や表現方法の難しさや演じることの楽しさを体験しながら、座員と子どもたちとのコミュニケーションを醸成していきます。</p>

タイムスケジュール（標準）			
会場設営の所要時間（1時間程度）			
到着	仕込み	ワークショップ	退出
8時半	8時半～	2～3時限	12時
※ワークショップ時間の目安は、午前または午後の2時限分程度です。			

派遣者数
5名

学校における事前指導
ワークショップを行うまでに資料をお送りします。淡路人形座のポスター、パンフレット、子どもたちと共演をする演目の映像DVDや、浄瑠璃を語る稽古用のCD、戎舞という神事の演目のなかで、学校の願い事を戎様が祈りながら杯を飲み干す場面での願い事の例、浄瑠璃の稽古の前に読んでおいていただきたい現代語などです。ワークショップを効果的に行うために、人形浄瑠璃とはどんな舞台芸術か、どんな演目で何をするかを先生方と公演に参加する子どもたちに学んでいただければと思っています。

校内にポスターを貼り、各教室に淡路人形座のパンフレットを置き、全校生に「戎舞」の願いの言葉を募集するなど、淡路人形座の公演を楽しみに待つ雰囲気を作ってもらい、1時間程度、事前学習の時間を取っていただくと、効果的なワークショップができます。

また、全国各地には人形浄瑠璃や歌舞伎の保存会や人形浄瑠璃にちなんだ盆踊りなど、浄瑠璃が日本人の生活の一部として馴染んでいた頃の芸能が残っている地域も多いので、地域内での民俗芸能の伝承者等にも声をかけて、ワークショップや公演に参加いただくと子どもたちにも身近な芸能と感じられると思います。

保護者や近隣の住民の鑑賞も可能な限り歓迎します。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人淡路人形協会
公演団体名	淡路人形座

演目
①【戎舞】 淡路人形に伝わる神事（エビスカキ）を舞台用に脚色した演目
②【人形浄瑠璃教室】 太夫・三味線・人形遣いの役割を体験も交えてわかりやすく説明します。
③【本朝廿四孝 奥庭狐火の段】 原作：近松半次・三好松洛他
公演時間（約100分 途中休憩10分含む）

派遣者数
13名（うち2名音響・照明スタッフ）

タイムスケジュール（標準）					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
8時半	8時半～11時	13時～15時	10分	15時～17時	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。					

実施校への協力依頼人員

演目解説

【戎舞】



戎舞の上演に、お酒を注ぐ役で生徒さんも参加して頂いております。

【本朝廿四孝奥庭狐火の段】



琴や三味線の連れ弾きの伴奏と、人形と人形遣いが一瞬で早替りする演出がみどころの、人形芝居独特の華やかな魅力溢れる演目です。

【児童生徒のコミュニケーション能力育成】



太夫の体験で大きな声をみんなで出したり、人形を三人で協力して操る体験を通じて、児童生徒の発想力やコミュニケーション能力の伸ばします。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

◎じょうり体験

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」の公演では一緒に浄瑠璃を語って頂きます。
太夫が直接指導しますので、大きな声を出して元気よく楽しみましょう。
最初は恥ずかしがる子どもたちも、だんだんと声を出せるようになります。



みんなで一緒に太夫を体験

◎人形つかい体験

人形浄瑠璃教室では、代表の児童・生徒3名様が、三人遣いの人形の体験ができます。本公演では「戎舞」で、戎様にお酒を注ぐ役の人形を遣えます。
また、戎様の願いの言葉も子どもたちに考えてもらい、学校に応じた願い事を入れることができます。



えびす様にお酒を注ぎます

児童生徒とのふれあい

ワークショップでの座員の説明や公演のための練習を通じて、伝統芸能に触れるだけでなく、公演後には、人形と握手や記念撮影・代表の体験・質問コーナーを設けることも可能です。学校の予定と淡路人形座の行程を考え、担当の先生と打合せたいと思います。